

第 5 回 ADOS-2 日本語版 導入ワークショップ

医療法人水明会佐潟荘 医局

平成 29 年 5 月 29 日(日)、昨年に引き続き ADOS-2 日本語版の導入ワークショップ（東京・御茶ノ水）に、院長の北村が参加しました。前回はモジュール 3（流暢に話すレベルにある子どもおよび青年期前期の対象者用）でしたが、今回はモジュール 4（流暢に話すレベルにある青年期後期および成人の対象者用）です。ADOS とは、Autism Diagnostic Observation Schedule の略で、ADOS-2 はその改訂日本語版です。すべて日本語で言うと「自閉症診断観察検査」ですが、普通は「エイドス・ツー（ADOS-2）」と呼ばれることが多いようです。

ADOS-2 は、自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（ASD）の診断・評価のゴールド・スタンダードとして、世界的に広く使われている半構造化面接です。乳幼児健診等での一次スクリーニング、あるいは医療・相談機関等での二次スクリーニングを経て、ASD を持つ可能性のある人が絞り込まれ、最終的に直接観察法である ADOS-2、または/および親に発達歴をインタビューする ADI-R を実施する、あるいはこれまで通り熟練した（児童）精神科医の診察により、ASD の診断・評価が確定されます。今後、神経発達症を扱う専門機関を中心に、ADOS-2 の導入が進むものと考えられますが、正確な実施はそう簡単なことではないので、研修や経験を積む必要がありそうです。